

第45回関東甲信越ブロック 理学療法士学会で シンポジウムを企画しました！

ライフサポート部
活動報告 第91報
職場環境を考える

男性の育休制度は年々整備され、取得率も増加しています。では、理学療法士の世界の実際はどのようなのでしょうか。ライフサポート部では、昨年度、神奈川県理学療法士学会を中心に本会会員を対象とした「男性育休取得に関する実態調査」を実施しました。調査では、男性会員の育休取得率は46.2%という結果が得られました。一方で、「周囲への負担感」「人手不足」「制度があっても取りにくい雰囲気」など、現場ならではの課題も見えてきました。

これまで、育児と仕事の両立は“母親側の問題”として語られることが多くありました。しかし、男性が主体的に育児へ関わるが増えた現在、育児と仕事の両立は、父親・母親だけでなく、一緒に働くスタッフや管理職も含めた、“みんなの働き方”の問題へと広がってきているように感じます。

本シンポジウムでは、「共育て時代」の働き方について、ライフサポート部からは実態調査の結果から見たことを報告し、3人のシンポジストからは、それぞれ異なる立場からリアルな経験を共有していただきます。

- ・実際に3か月間の育休を取得した男性理学療法士からは、妊娠期から復帰後までの準備や生活、キャリアへの影響、育休取得によって得られたことや課題についてお話しいただきます。
- ・5人のお子さんを育てながら、総合病院・クリニック・訪問リハなど様々な職場を経験してきた女性理学療法士からは、長い子育て期間の中での働き方や、家族・職場との関わりについてお話しいただきます。
- ・長年病院管理に携わってこられた管理職の立場からは、育児支援制度の変化に伴う現場対応や、スタッフが働き続けられる職場づくりについてご講演いただく予定です。

「男性育休」の取得における課題に留まらず、誰もが働き続けられる職場環境とは何かについて、参加者の皆様と一緒に考える場にしたいと思います。

【テーマ】

理学療法士における男性育休のリアルとこれから
～“共育て時代”の働き方を考える～

【開催日時】

2026年10月11日（日）13:00～14:00

（第45回関東甲信越ブロック理学療法士学会・
パシフィコ横浜）



活動報告Ⅲ ライフサポート部

【座長】

杉山さおり（GoodPosture）

西田友紀子（横浜市立みなと赤十字病院）

【シンポジスト】

・寺尾詩子（神奈川県理学療法士会ライフサポート部）

「男性育休実態調査とライフサポート部の活動からみえること」

・桑村雄偉（聖マリアンナ医科大学病院）

「男性育休の実体験からみえること」

・関田真知子（指定訪問看護アットリハ和田町）

「子育てと仕事の両立を担う母親の視点からみえること」

・根本敬（湘南鎌倉総合病院）

「病院管理の立場からみえること」

「共育て時代」って??

2年前の男性育休に関連する研修会の企画で、（一般）Daddy Support 協会の平野先生の講演を聞き、私は「共育て時代」という言葉に初めて触れました。時代の進化を感じる言葉でした。政府は男性育休や育児にまつわる制度を充実させることで、母親だけでなく、父親はもちろんのこと、社会全体で子育てをしていく必要性を打ち出しています。具体的なアクションはDaddy Support 協会が作製した「父子手帳」がわかりやすくまとめられていますので、利用が広がればと思います。「父子手帳」はシンポジウム参加者には、ご希望の方に数量限定でお渡しします（無料版はDaddy Support 協会のホームページからダウンロード可）。是非、シンポジウムに足を運んでください。

＜参考＞

共育（トモイク）プロジェクト | 厚労省

共働き・共育てを応援 | こども家庭庁

父子手帳 | （一般）Daddy Support 協会



株式会社エヌ・エフ・エーは
保険を通じて暮らしやビジネスを
サポートします



NFA

株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015

東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階

TEL.03-5818-0711(代表) FAX.03-5818-0710

<https://www.nfa-ins.co.jp>

